

# おお大勝利

令和4年度 山東サッカー部報第7号 (7月5日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 県総体後のリーグ戦大勝

6月25日(土)、県総体後のリーグ戦が再開されました。**山東は、他の県内進学校に先駆けて！ 県総体後も区切りの良いところまでリーグ戦を戦い続ける伝統でこれまで来た<sup>1</sup>**。県総体に懸ける思いを持っていればいるほど、なかなか気持ちの切り替えは難しいですが、ほぼすべての3年生がしっかり部活動を継続することとなった。1・2年生は3年生から学び続けてほしいし、3年生も最後まで成長を目指してほしい。

この試合、県トレセン(ミニ国体に臨むU16の県選抜)の試合があり、それに関わった関係で、顧問今野が観ることができませんでした。ので、**1年生大会後に途中入部した2年生で、ユーモアには定評がある2年サノチャン**にレポートをお願いしました。

山形中央グラウンドにて、Y3A第6節鶴岡中央戦が行われた。

太陽の日差しが差し込む、灼熱の中始まった試合だが、目指すのは勝利のみ。

指示通りに序盤は短いパスを繋ぎ、相手の出方を伺いながら攻める形を取った。

すると、開始早々**怪我から復帰した3年右SHゴッチャン**が同じく**3年の右SBタリョー**の長いスローインで抜け出し、中へ折り返すと、**3年FWカナタ**のゴールとなり、幸先良く先制。

その後、**3年CBシカマ**が返したヘディングに対して、相手が収めきれないでいたところを**3年ボランキGUCCI**が間髪入れずにスペースに入れるも、得点には繋がらない。しかし、このプレーで得たCKの流れから、**3年ボランキシュンスケ**がドンピシャヘッドで2点目。ただ、流れを掴み始めたところ、**3年GKジャッカル**がゴール前でボールを蹴り出すことが出来ず、あわや…の場面も。

前線からのプレスが機能しており、サイドに追い込みながら、要所要所で締めながら、相手に攻撃の糸口を与えなかった。また、ボールを奪われた際も、GUCCIの素早い寄せからボールを掴み取り、山東の時間帯をキープする。

その後は、カナタの落としかから両サイドを走らせるシーンが見られるようになる。すると、今節、前線中央の一角を務める**1年FWショーゴ**がペナルティエリアに持ち込んで、シュート。これが決まり3点目。

前半中盤からはシュンスケやGUCCIが、縦を狙ったロングボールや差し込みのパスを使うようになる。これに反応したのは**2年左SHマサ・オクヤマ**。落ち着いて

<sup>1</sup> **山東第63回卒ショータの代**までは、県総体後3年生はすぐ引退しておりましたが、**64回卒のヨシタカ**の代から、リーグ戦前期までの一巡(7節)は戦うという流れで来ました。だいたい7月前半くらいまで。リーグ戦に出場するエチケットとして、1回は同じメンバーで戦わないと、進学校と県総体前に当たるのと県総体後に当たるのとで有利不利が生じてしまう。なかなか難しいミッションでしたが、ヨシタカの代が前向きに取り組んでくれて、それ以降10年ばかり続いて、伝統と言えるレベルになってきました。山東の年間目標の中でも、リーグ戦において前期優勝というのは、毎年掲げられております。

ボールを捌くと、そのままゴールへ流し込み追加点。**3年左 SB コンニャク**から繰り出される、ゴール前へのインスイングのボールは何度もゴールの香りを漂わせながら、前半終了間際にシュンスケが決めきり、タイムアップ。

後半開始。

前半ではあまり見られなかった、右 SB タリョーのロングボールが多くなる。その中でも、カナタへのピンポイントのパスから一気に得点へ結びついた場面などもあり、開始間もなく、得点を重ねる。

しかし、鶴岡中央も縦とのワンツールの連携から、攻め込んでくる。シュートこそ打たせなかったが、暑さの中、山東イレブンにも疲れの色が見え始める。それでもなお、サイドの局面は、タリョー、コンニャクを中心とした守りで突破を許さない。相手も条件は同じため、山東も攻撃の手を緩めない。中央の仕掛けからシュートを狙うといったシーンが増え、交代で入った**2年リュウキ**や**1年ソータ**が攻撃の組み立てを担った。

山東の CK からの流れで、自陣深くにロングボールを放り込まれたが、すかさず**2年 CB ヤマト**がよせて、チャンスを作らせない。途中出場の**1年ホズト**も果敢な寄せと、飛び出して何度もボールをカットしてゆく。

後半半ばにはタリョーのクリアからカナタが抜け出し、得点ランクをひた走る**4点目**。

相手に立て続けに CK を与えるも、ジャッカルを軸とした守備陣が何度もボールを跳ね返す。「キーパー！」という声は俺に任せろの合図で、先輩の自信に満ち溢れている姿は、後輩として学ぶべきところがある。

守備陣はその後も攻撃をシャットアウト。

結果は**11対0**で勝利した。

初めてゲームレポートを書きましたが、試合をより細かく見ることで、中盤の GUCCI さんの要所要所のプレーの上手さ、切り返しなど相手に勝つためのテクニックを発見することができました。1日の練習で出来るものではないので、毎日コツコツ積み重ねてやらなければならないと思いました。

ん～、サノチャンのギャグセンスをもっと出してほしかったが、試合展開のわかる詳細なレポートとなりました。GUCCI やマサ・オクヤマの表記は、サノチャンのこだわりでしょうか。

鶴岡中央は IH 予選で**3年生**が引退し、新人チームの公式戦初戦となったようです。サノチャンのレポートからもわかるように、山東も活躍している選手は**3年生**がほとんどで、彼らが引退したらかなり苦しい試合が続くことが予想される。1・2年生諸君、もっともっと成長を加速させてほしい。

そういえば、さすがサノチャン、**3年生**全員の名前を登場させる配慮を見せましたね。その**3年生は例年より2節ほど多くリーグ戦を戦う**ようです。引き続き応援よろしく願います。

**7月9日(土) Y3A 第7節 鶴岡工業戦 12:00～ @山形明正 G**